



薬剤師による入院日面談

市民病院では、予定入院する患者さんに対して入院当日、診察前に薬剤師による面談を行っています。

今まで飲んでいた当院、または他院で処方されている薬・サプリメントなどの内容と服用状況（入院日までの服用継続の確認など）や副作用歴、アレルギー歴など薬に関する情報を収集し、電子カルテに記載します。特に手術や検査を受ける入院患者さんで事前の外

来診察時に服用中止の指示が出ている薬がある場合には、指示通りに薬を止めていたかを確認します。面談時に中止薬の服用を確認した場合には直ちに主治医に連絡し、場合によっては、手術や検査が延期となることもありますので、指示をしっかりお守りください。

持ってきていただいた薬は、面談時に一度お預りします。近頃はジェネリック薬品（後発医薬品）の普及により、薬の名前を聞いただけではどのような薬か分かりにくくなりました。面談後、預かっ



た薬を鑑別して報告書を電子カルテに記載します。薬は鑑別後に病棟へお届けします。これらは全てより安心して安全な医療を提供するためのものですので、ご理解・ご協力をお願いします。入院の際は、薬だけでなく、薬袋・薬の説明書やお薬手帳も大切な情報源となりますので忘れずにお持ちください。

ヘルニア外来



市民病院では、ヘルニア専門外来を開設しています。病状によっては、放置しておくことで腹膜炎を引き起こす可能性もあります。専門外来を設けることで、皆さんにこの病気の正しい理解と早めの受診をお願いしています。

診療日 月・水・木曜日（祝日を除く）
受付時間 午前8時30分～11時



医療機関の使い分け

かかりつけ医を持ちましょう

先生に聞いてみた!



インタビューバトン

第14回 外科 医師 藤井善章



Q 先生のご出身は？

A 神戸市です。

Q 市民病院外科の特色は？

A 身体への負担が少ない腹腔鏡手術が多いことが特徴です。鼠径ヘルニア、胆石、大腸がん、胃がんなどの疾患にも腹腔鏡を用いた低侵襲（痛みや出血が少ない）手術を行っています。

Q 鼠径ヘルニアとはどういう病気ですか？

A 主な症状は足の付け根（鼠径部）のふくらみです。このふくらみは、お腹の中から腸や脂肪組織などが出てきているために起こります。

Q 鼠径ヘルニアになりやすい人は？

A 一般的には40歳以上の男性に起こりやすく、立ち仕事をしている方や便秘症、肥満の方もなりやすいと言われています。また、妊娠中の方も注意が必要です。

Q 鼠径ヘルニアはなぜ起こるのですか？

A 乳幼児の場合は先天的なものが多いですが、成人では加齢に伴い身体の組織が弱くなることや、過度に腹圧がかかりすぎることが原因と言われています。

Q 患者さんや地域の方々にとこと

A 今後も皆さんのためになれるように頑張ります。

次回は内科の先生です